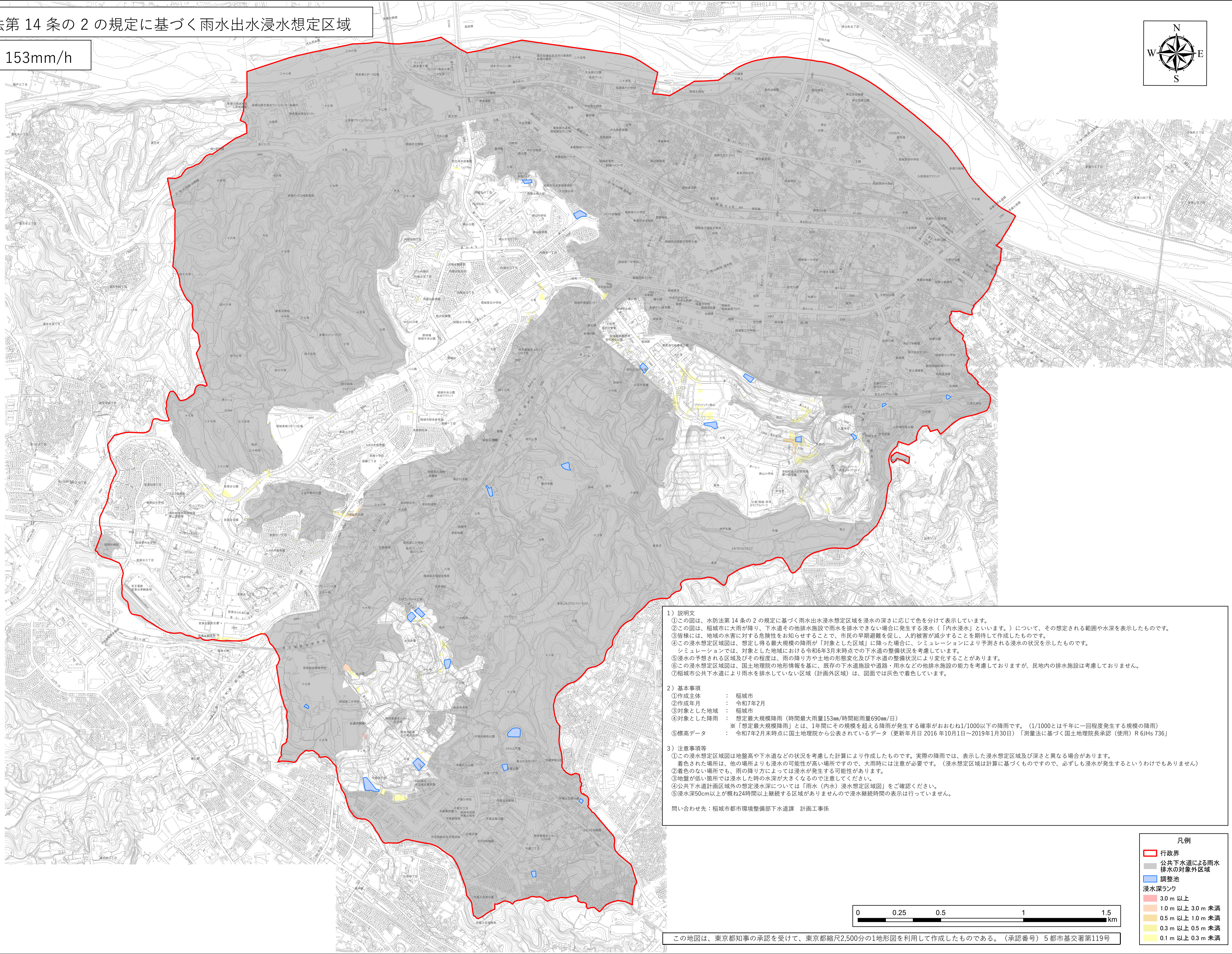
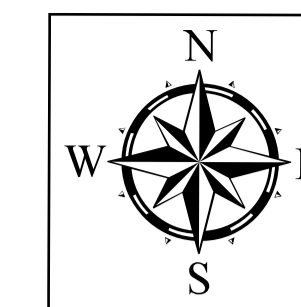


稲城市 水防法第14条の2の規定に基づく雨水出水浸水想定区域

時間最大降雨 153mm/h



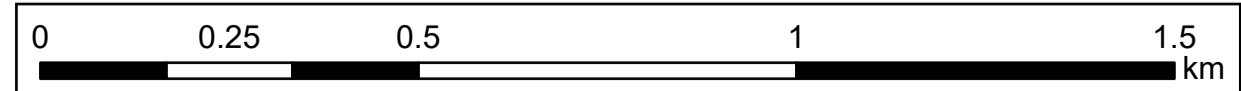
1) 説明文
①この図は、水防法第14条の2の規定に基づく雨水出水浸水想定区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。
②この図は、稲城市に大雨が降り、下水道その他排水施設で雨水を排水できない場合に発生する浸水（「内水浸水」といいます。）について、その想定される範囲や水深を表示したものです。
③皆様には、地域の水害に対する危険性をお知らせすることで、市民の早期避難を促し、人的被害が減少することを期待して作成したものです。
④この浸水想定区域図は、想定し得る最大規模の降雨が「対象とした区域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。
⑤シミュレーションでは、対象とした地域における令和6年3月末時点での下水道の整備状況を考慮しています。
⑥浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態変化及び下水道の整備状況により変化することがあります。
⑦この浸水想定区域図は、国土地理院の地形情報に基づき、既存の下水道施設や道路・用水などの他排水施設の能力を考慮しておりますが、民地内の排水施設は考慮しておりません。
⑧稲城市公共下水道により雨水を排水していない区域（計画外区域）は、図面では灰色で着色しています。

2) 基本事項
①作成主体 : 稲城市
②作成年月 : 令和7年2月
③対象とした地域 : 稲城市
④対象とした降雨 : 想定最大規模降雨（時間最大雨量153mm/時間総雨量690mm/日）
※「想定最大規模降雨」とは、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率がおおむね1/1000以下の降雨です。（1/1000とは千年に一回程度発生する規模の降雨）
⑤標高データ : 令和7年2月末時点に国土地理院から公表されているデータ（更新年月日 2016年10月1日～2019年1月30日）「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHS 736」

3) 注意事項等
①この浸水想定区域図は地盤高や下水道などの状況を考慮した計算により作成したものです。実際の降雨では、表示した浸水想定区域及び深さとは異なる場合があります。
着色された場所は、他の場所よりも浸水の可能性が高い場所ですので、大雨時には注意が必要です。（浸水想定区域は計算に基づいたもので、必ずしも浸水が発生するというわけでもありません）
②着色のない場所でも、雨の降り方によっては浸水が発生する可能性があります。
③地盤が低い箇所では浸水した時の水深が大きくなるので注意してください。
④公共下水道計画区域外の想定浸水深については「雨水（内水）浸水想定区域図」をご確認ください。
⑤浸水深50cm以上が概ね24時間以上継続する区域がありませんので浸水継続時間の表示は行っていません。

問い合わせ先：稲城市都市環境整備部下水道課 計画工係

- 凡例
- 行政界
 - 公共下水道による雨水排水の対象外区域
 - 調整池
 - 浸水深ランク
 - 3.0 m 以上
 - 1.0 m 以上 3.0 m 未満
 - 0.5 m 以上 1.0 m 未満
 - 0.3 m 以上 0.5 m 未満
 - 0.1 m 以上 0.3 m 未満



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。（承認番号）5都市基交著第119号